



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月12日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,427	3.2	79	△11.7	78	△10.4	77	△13.1
27年3月期第1四半期	1,383	△3.2	90	△33.9	87	△32.4	88	△26.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 70百万円 (50.9%) 27年3月期第1四半期 143百万円 (△43.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.19	—
27年3月期第1四半期	5.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	23,150	10,085	43.5	677.50
27年3月期	23,575	10,014	42.4	672.75

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 10,073百万円 27年3月期 10,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,920	4.7	120	11.1	120	22.4	110	22.2	7.40
通期	5,700	3.3	150	△18.9	150	△9.6	130	△19.8	8.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	15,000,000株	27年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	130,631株	27年3月期	130,881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	14,869,295株	27年3月期1Q	14,871,047株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,427百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は79百万円（同11.7%減）、経常利益は78百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77百万円（同13.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益または損失の測定方法を変更しており、以下の前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の測定方法に基づき作成した数値で比較しております。報告セグメントの測定方法の変更の詳細につきましては9頁「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

〔鉄道事業〕

旅客部門におきましては、「わくわく鉄道フェスタ」の開催や関係団体等と協力したハイキング等を実施した他、秩父芝桜の丘から沿線観光へと誘客を図るキャンペーン等を実施いたしました。

また、今年で長瀬ラインくんだりが創業100周年を迎えたことを記念して乗車券を発売するなど、話題性作りや、積極的な旅客誘致に努めました。加えて、観光シーズン中の天候にも恵まれ、更には沿線地域がマスメディアに多く取り上げられたこともあり、前年同期に比べ定期外旅客人員が伸び、旅客収入は増加いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量が減少したことに伴い前年同期に比べ減少いたしました。

また、営業費用は、修繕費の増加もありましたが、経費削減に努め前年同期並に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は881百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は13百万円（同73.6%減）となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業におきましては、深谷市緑台の分譲地販売が順調に推移した他、請負工事収入及び仲介収入も前年同期に比べ増加いたしました。その結果、営業収益は141百万円（前年同期比58.7%増）、営業利益は42百万円（同25.6%増）となりました。

〔観光事業〕

観光事業におきましては、「長瀬ラインくんだり創業100周年感謝フェア」として様々なイベントを実施してまいりました。

また、旅行者への営業活動に加え、取材への協力も積極的に行ないマスメディアに多く取り上げられたこともあり、沢山のお客様に各施設をご利用いただきました。その結果、営業収益は99百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は14百万円（同226.2%増）となりました。

〔バス事業〕

バス事業におきましては、貸切バスの新運賃・料金制度が定着し、順調に推移したことから営業収益は118百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益は20百万円（同669.0%増）となりました。

〔その他事業〕

その他事業におきましては、営業収益は283百万円（前年同期比6.8%減）、営業損失は14百万円（同342.8%増）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ424百万円減少して23,150百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、324百万円減少して1,502百万円、固定資産は100百万円減少して21,648百万円となりました。流動資産減少の主な要因は分譲土地建物の減少に加え、受取手形及び売掛金、その他に含まれる鉄道事業に係る補助金の未収金がそれぞれ減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は減価償却により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ495百万円減少し13,065百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ379百万円減少し3,428百万円、固定負債は116百万円減少し9,636百万円となりました。流動負債減少の主な要因はその他に含まれる設備未払金が減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し10,085百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	891,338	871,832
受取手形及び売掛金	332,418	310,979
分譲土地建物	204,606	158,527
商品及び製品	29,614	35,348
原材料及び貯蔵品	91,342	85,057
その他	278,667	42,078
貸倒引当金	△1,272	△1,356
流動資産合計	1,826,715	1,502,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,656,497	13,654,705
減価償却累計額	△9,200,662	△9,242,198
建物及び構築物（純額）	4,455,834	4,412,507
機械装置及び運搬具	4,903,108	4,862,251
減価償却累計額	△4,277,917	△4,268,112
機械装置及び運搬具（純額）	625,190	594,138
土地	15,589,814	15,589,814
その他	635,577	635,777
減価償却累計額	△573,459	△578,754
その他（純額）	62,118	57,023
有形固定資産合計	20,732,957	20,653,483
無形固定資産	102,417	97,494
投資その他の資産		
投資有価証券	871,344	855,462
繰延税金資産	2,994	2,904
その他	60,569	60,300
貸倒引当金	△21,372	△21,147
投資その他の資産合計	913,536	897,519
固定資産合計	21,748,912	21,648,497
資産合計	23,575,627	23,150,965

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,728	135,548
短期借入金	1,133,498	1,220,000
1年内返済予定の長期借入金	1,237,534	1,226,140
未払法人税等	15,900	4,721
未払消費税等	135,849	78,643
繰延税金負債	175	205
賞与引当金	194,812	112,154
その他	848,529	651,447
流動負債合計	3,808,030	3,428,861
固定負債		
長期借入金	2,716,160	2,597,827
繰延税金負債	245,684	239,434
再評価に係る繰延税金負債	4,800,408	4,800,408
退職給付に係る負債	1,817,393	1,817,729
特別修繕引当金	62,400	67,600
長期預り金	111,078	113,890
固定負債合計	9,753,126	9,636,890
負債合計	13,561,156	13,065,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,921	21,919
利益剰余金	△987,873	△910,688
自己株式	△28,265	△28,211
株主資本合計	△244,217	△166,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,780	516,151
土地再評価差額金	9,759,028	9,759,028
退職給付に係る調整累計額	△37,372	△34,262
その他の包括利益累計額合計	10,247,435	10,240,917
非支配株主持分	11,252	11,276
純資産合計	10,014,471	10,085,213
負債純資産合計	23,575,627	23,150,965

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
営業収益	1,383,162	1,427,196
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	955,554	1,005,802
販売費及び一般管理費	337,265	341,608
営業費合計	1,292,820	1,347,410
営業利益	90,342	79,785
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	7,078	7,059
土地物件貸付料	956	3,675
助成金収入	250	150
その他	7,903	4,020
営業外収益合計	16,192	14,910
営業外費用		
支払利息	17,515	14,849
その他	1,257	1,195
営業外費用合計	18,773	16,044
経常利益	87,762	78,651
特別利益		
固定資産売却益	6,099	1,729
補助金	—	100
特別利益合計	6,099	1,829
特別損失		
固定資産除却及び撤去費	21	—
特別損失合計	21	—
税金等調整前四半期純利益	93,840	80,481
法人税、住民税及び事業税	4,914	3,149
法人税等調整額	140	119
法人税等合計	5,054	3,268
四半期純利益	88,785	77,212
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△6	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,792	77,185

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
四半期純利益	88,785	77,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,112	△9,632
退職給付に係る調整額	4,035	3,110
その他の包括利益合計	55,148	△6,522
四半期包括利益	143,934	70,690
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,924	70,667
非支配株主に係る四半期包括利益	9	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	913,953	87,404	80,481	103,471	1,185,311	197,851	1,383,162	-	1,383,162
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,543	1,656	47	295	4,542	106,734	111,277	△111,277	-
計	916,497	89,060	80,529	103,766	1,189,854	304,585	1,494,439	△111,277	1,383,162
セグメント 利益又は損 失(△)	51,107	34,044	4,554	2,648	92,355	△3,182	89,172	1,169	90,342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整1,169千円には、固定資産未実現損益の消去額298千円、セグメント間取引消去871千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	876,984	139,701	99,034	117,984	1,233,705	193,490	1,427,196	—	1,427,196
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,191	1,656	218	267	6,332	90,494	96,827	△96,827	—
計	881,175	141,357	99,252	118,252	1,240,038	283,984	1,524,023	△96,827	1,427,196
セグメント 利益又は損 失(△)	13,517	42,770	14,857	20,369	91,514	△14,092	77,422	2,363	79,785

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,363千円には、固定資産未実現損益の消去額341千円、セグメント間取引消去2,022千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの経営成績をより適切に反映させるため業績管理方法を見直したことに伴い、当社における出向者人件費に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

5. 補足情報

(参考)鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	1,437	1,463	△1.8
	定期外	〃	740	722	2.6
	計	〃	2,178	2,185	△0.3
貨物トン数		千トン	500	571	△12.5
旅客収入	定期	百万円	201	203	△1.0
	定期外	〃	315	308	2.5
	計	〃	517	511	1.1
貨物収入		〃	296	340	△13.0